

# 近江楽座

まち・むら・くらしふれあい工舎

## 2019

学生も

大学も

地域も、

いっしょに育つ。

http://ohmirakuza.net  
滋賀県立大学 スチューデントファーム「近江楽座」—まち・むら・くらしふれあい工舎—

# STUDENT FARM

## 「近江楽座」＝学生らしさを活かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

### 「近江楽座（おうみらくざ）」とは？

滋賀県立大学の「スチューデントファーム「近江楽座」—まち・むら・くらしふれあい工舎—」は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。2004年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に採択され、2006年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取り組みとして、学内外で高く評価されました。そして、翌2007年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かし、更なる活動を展開しています。

### 教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

### 3つのサポートシステム

近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局（地域共生センター）の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

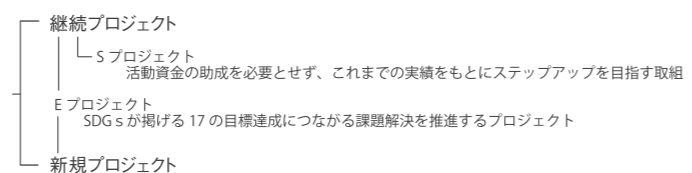
- **活動助成システム**  
“スチューデントファーム「近江楽座」”として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。
- **コンサルティングシステム**  
教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。
- **地域「知」のリソースシステム**  
大学と地域連携に係わる情報を他大学、研究機関、行政、NPO団体などと共有化・活用するためのデータベースを構築し、活動をサポートします。

### プロジェクトタイプ

- **A プロジェクト（学生主体型プロジェクト）**  
「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集します。昨年度までの継続活動を対象とした①「継続プロジェクト」、新規活動を対象とした②「新規プロジェクト」、SDGsと深く関わり、自分たちの取組を学校や地域等に普及することに力を入れている③「Eプロジェクト」、さらにこれまでの実績をもとにステップアップをめざすプロジェクトで、活動資金の助成を必要としない④「Sプロジェクト」、の4つの区分で募集し、支援するプロジェクトを選定しています。
- **B プロジェクト（地域協働型プロジェクト）**  
自治体や企業、団体等から依頼のあった課題の中で、学生が中心になって取り込むのがふさわしいものについて、学生主体のグループを募集し、指導教員、地域共生センターおよび依頼先とが協働でプロジェクトに取り組みます。現在、「県営開出今団地コミュニティ再生プロジェクト」（2016～）に取り組んでいます。

#### A プロジェクト

「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動プロジェクト。



#### B プロジェクト

学生が主体となって取り組むのがふさわしい自治体や企業等から提示された課題に、学生チームと依頼先とが協働で取り組むプロジェクト



## MANAGEMENT CYCLE

### step1 発起

#### 近江楽座につながる活動の芽

- 「学生主体による地域貢献活動」がキーワード
- 大学での授業、フィールドワーク、研究などすべてが近江楽座につながる活動の芽

学生ならではの視点で地域の課題や魅力を見出し、新たな実験的な試みを蓄積していくことが出来ます。



公開プレゼン

### step2 計画

#### 一年間で成果を上げるためのプランニング

- 年一回、近江楽座のプロジェクト募集と審査会
- 学生主体の活動であれば、誰でも応募可能
- 所定の過程と厳正な審査を経て為される採択

公開で行われる審査会を経験することで、学生たちのプレゼンテーション能力が養われます。また、審査を通して自分たちのプロジェクトの評価を確認することが出来ます。



交流会

### step3 活動

#### 独自の支援を活用したプロジェクト展開

- 活動資金の助成により、実践的な活動展開が可能
- 教員と事務局が連携した全学的なサポート体制
- 年度中間に活動の中間報告を行い、活動の発展を図る

活動助成やコンサルティングといった活動支援に加えて、近江楽座がこれまで培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かすことで、更なる成果や展開も生まれていきます。



中間報告会

### step4 報告

#### 大学、地域と共に成果と課題の再認識

- 全てのチームで一年間の活動をフィードバックし成果と課題を共有し合う
- 成果の発表だけでなく、地域関係者や一般の方とともに意見交換できる場づくり

活動成果の展示発表と同時に、地域の方々や外部講師を招いて開催します。より多くの方々と共にまちづくりを考える場をつくることで、近江楽座の活動を広くアピールして取組の発展を図ります。



成果発表会

近江楽座を経験し、地域へのまなざしを持つことで  
学生もプロジェクトも次のステップへ。  
そして、次へつながる新たな“種”が生まれる。

## — VOICE / 先輩の声 —

三木亜実さん（トライアドウエスト株式会社）  
おとくらプロジェクト（2013-2015）



学校生活では繋がりのない様々な年代の人と関わることが出来る。

友達に付いておとくら喫茶を訪れ、場所の雰囲気と先輩や家主さんの人柄に惹かれておとくらプロジェクトに参加しました。楽座の活動では、普通に学校生活を送る中では繋がりを持つことのないような様々な年代の人と関わることが出来ます。周りの大人の方、地域の方々の力を借りて初めて活動が成り立ちます。現在の仕事では、年に何度か地域の方向への勉強会を開催しています。このような活動に参加させて頂けるのも、楽座での経験があったからこそです。

学生時代は必死で、ただ目の前の仕事をしているという気持ちでした。特に、災害支援として初めて田の浦に行った時は、何もかも手探りのスタートで、仲間と衝突することもありました。しかし、看護師になった今は、あの体験にはこんな意味があったのだと気づくことがたくさんあります。未来看護塾での活動は、様々な価値観に触れるチャンスです。「失敗してもいいや」という気持ち、地域に入らせていただくんだ、という気持ちを忘れずに、頑張ってください！皆さんも、大学時代にできないことを色々経験してください。

中川杏奈さん（看護師）  
未来看護塾（2010～2012）



看護師になって振り返った時に、自分の体験に意味づけができていた。

## SCHEDULE 2019-2020

### 4月 / April

新入生オリエンテーション (4/5)  
応募説明会 (4/12)  
2018年度活動報告会 (4/20)  
合同説明会 (4/18-4/19)  
2019年度プロジェクト学内公募 (4/12-5/10)

### 5月 / May

2019年度公開プレゼンテーション・審査会 (5/25)  
2019年度採択プロジェクト発表 (5/30)  
活動説明会 (5/31)

### 6月 / June

プロジェクト活動開始 (6/1)  
湖風夏祭 (6/15)

「おうみらくざプロジェクトレポート」発行開始

### 7月 / July

滋賀県立大学オープンキャンパス (7/20-7/21)  
スキルアップ講座 (7/19、7/25)

### 10月 / October

スキルアップ講座

### 11月 / November

2019年度中間報告会  
湖風祭 (11/9-11/10)

### 3月 / March

活動実績報告

### 4月 / April

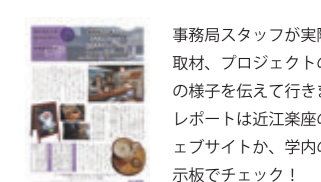
2019年度活動報告会

ウェブサイトの情報が充実!



各プロジェクトについてはもちろん、楽座人物図鑑や楽座文庫などのコンテンツがありさらに検索機能ができました。過去のプロジェクトについても知る事ができます。

プロジェクトレポート発行中!



事務局スタッフが実際に取材、プロジェクトの様子を伝えていきます。レポートは近江楽座のウェブサイトか、学内の掲示板でチェック!

近江楽座でスキルアップ!

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。



## PROFILE

### 近江楽座学生委員会

近江楽座をさらに推進していくことを目的にプロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006年度に結成された組織です。チーム間の交流・連携を目的として、交流会の開催や活動紹介冊子の作成など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。学生たちが学部や学科、プロジェクトの枠を超えて活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワークを形成していくことを目指しています。

そろそろ会でチーム間の交流も!



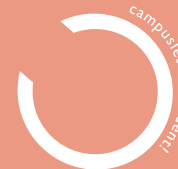
楽座っ子同士の交流会“そろそろ会”の企画も行っているミィ!他のチームの学生と交流できるチャンス!みんな集まれー!!

### 近江楽座専門委員会

滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を図る、地域共生センター運営委員会の一専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査、広報や学外交流などの議案を審議し、募集全般を推進することを目的とした教員による組織です。メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生全体の地域貢献活動をサポートしています。

### 近江楽座事務局

近江楽座専門委員会の実務を担い、プロジェクトの募集や活動助成、予算の執行管理、活動成果まとめ、報告会の企画・実務等を行うとともに、チームの活動に対する指導や助言を行っています。また、取材や視察、協力要請といった外部からの問い合わせ窓口や活動紹介印刷物の発行、ホームページの運営を行い、広報・発信面でのサポートを行っています。



# 近江楽座

近江楽座事務局  
お問い合わせ先 滋賀県立大学地域共生センター  
Tel | 0749-28-8616 Fax | 0749-28-8473 E-mail | info@ohmirakuza.net WEB | http://ohmirakuza.net

発行日 | 2019年7月  
発行 | 近江楽座事務局  
制作 | 福元美希  
取材協力 | 青柳光哉、伊藤巴瑠加

